



週刊 さんいん学間

第458号

紙面ガイド

まなぶん2

- ホントの恐竜
- おうちで英語
- おうちで作ろう

まなぶん3

- カガク・ミライ
- ブックトーク
- まなびやりレポート

まなぶん4

- まなぶんクロス
- 投稿ひろば
- 高校入試対策講座

まなぶん1

宮崎アニメ新作が話題に

宮崎駿監督の10年ぶりの長編アニメ映画「君たちはどう生きるか」がヒット、話題を集めています。数多くの名作を生み出してきた宮崎監督は82歳。2013年公開の「風立ちぬ」を最後に引退すると発表しましたが、その後に下げ、世界中のアニメファンが新作を待ち望んでいました。

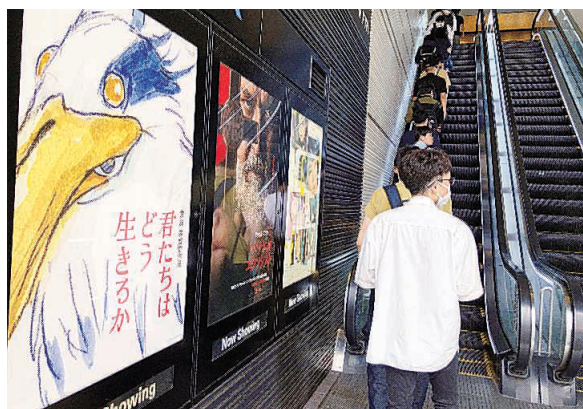
長編「君たちはどう生きるか」

物語の舞台は、太平洋戦争時の日本で、空襲によるとみられる火災で母親を失った少年が主人公です。父と地方に移り住んだ少年は、人間の言葉を話すアオサギに導かれ、不思議な世界へと迷いこみます。

宮崎監督は子どものころに戦争を体験しています。映画の最初に流れる火災の場面は、これまでの作品にはないえがき方で、とてもおそろしいものです。中ごろからは現実からはなれ、夢あふれる世界の中で、生き生きとした動きのある場面が続き、宮崎監督の思いがこめられた結末へと向かっていきます。

宮崎監督は大学を卒業し、アニメの仕事を始めました。テレビアニメ「アルプスの少女ハイジ」などを担当した後、1979年の「ルパン三世 カリオストロの城」で映画監督としてデビュー。「風の谷のナウシカ」「となりのトトロ」「もののけ姫」など、子どもだけでなく大人も楽しめる映画を次々と発表し、大変な人気

ニュース？なぜなに



映画「君たちはどう生きるか」を見ようと映画館にならぶ人々＝7月、東京都新宿区

となりました。

2001年の「千と千尋の神隠し」は、アニメを芸術に高めたと海外でも評価され、アメリカのアカデミー賞やドイツの有名な映画祭で賞に輝きました。手がきにこだわり続けた宮崎アニメは、いつまでもファンの心に刻まれることでしょう。

宮崎駿監督の主な映画作品

〈公開年〉
1979年 ●「ルパン三世 カリオストロの城」
84年 ●「風の谷のナウシカ」
86年 ●「天空の城ラピュタ」
88年 ●「となりのトトロ」
89年 ●「魔女の宅急便」
92年 ●「紅の豚」
97年 ●「もののけ姫」
2001年 ●「千と千尋の神隠し」
04年 ●「ハウルの動く城」
08年 ●「崖の上のポニョ」
13年 ●「風立ちぬ」
23年 ●「君たちはどう生きるか」

◀アカデミー名譽賞を受賞した宮崎監督＝2014年11月(写真はロイター)



公開までほとんど宣伝なし

ヒットが期待できる映画は通常、できるかぎり多くの人に作品のことを知ってもらおうと、さまざまな形で大々的に宣伝されます。しかし宮崎駿監督の新作「君たちはどう生きるか」は、ほとんど宣伝をしていません。これはとてもめづらしいことです。

事前に公表されたのは、鳥のような絵のポスターだけ。予告編を全く上映しない上に、映画の公式サイトもありません。7月14日に公開されるまで、あらずしも出演者の名前も、何もかもが秘密のままでした。

スタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーは、宣伝が多すぎると見る人の興味がうすれてしまうかもしれないと考えて、「一切しない」と決めたそうです。一方、宮崎監督は「宣伝がなくて大丈夫かなあ」と心配していたといいます。

空からみたニッポン



イラスト 黒澤達矢

<ヒント> 子どもから大人まで楽しめます

(クイズとイラストの答えはまなぶん4面)

社会

広島は6日、原爆投下から78年の「原爆の日」となり、広島市で平和を祈る式典が開かれました。松井一実市長は平和宣言で、核兵器を持つことで敵に攻撃を思いとどまらせるという考え方は、行きづまっているとうたえました。「対話を通じた安全保障の仕組みをつくってほしい」と話し、平和の実現を求めました。

式典には約5万人が参加し、米軍が原爆を投下

広島 原爆投下から78年で式典



被爆から78年の「原爆の日」をむかえ、多くの人が訪れた平和記念公園。手前は原爆ドーム、6日、広島市

した8時15分に黙とうをささげました。岸田文雄首相は、5月に広島市で開かれたG7サミットは成功だったとして「核なき世界の実現に向けて努力を続ける」とあいさつしました。

原爆の被害にあっても今も生きている人は、今年3月の時点で11万3649人、平均年齢は85歳です。広島で原爆の被害にあい、これまでに亡くなった人は33万9227人に上ります。

長崎市でも9日、平和祈念式典が開かれました。

高校生の漫画の頂点を決める第32回全国高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)の決勝戦が5、6の両日、高知市で行われ、山陰両県から唯一出場していた鳥取県立米子高(米子市橋本)が最優秀賞に選ばれました。山陰勢の最優秀賞は初めて。

会場には韓国、シンガポールを含めた33校が集まりました。両日とも発表されたテーマに合わせて、1校3～5人のメンバーで声をかけ合いながら筆を走らせました。1日目のテーマは「どんでん返し」、

まんが甲子園 米子高が最優秀賞



部長の山辺来綾さん(17)は「アイデアに自信があった。先輩の作品を参考に、コーヒーを使って色を出すなど画法にもこだわった。報われた」とうれしそうでした。

2日目は「新ルール」。米子高は桃太郎を題材にした1日目の作品が優秀10作品に選ばれ、2日間でもトップに輝きました。現代では洗濯機を使うため、おばあさんが川を流れてくる桃に気付かないというストーリー。

松江市の宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島に歩いて渡るイベントが6日あり、小学生や保護者ら約300人が真夏の青空の下で列をつくって水中散歩を楽しみました。

袖師町の宍道湖夕日スポットを出発。距離約220m、深い所で1.5mほどあるコースを浮輪と特設のロープを頼りに歩きました。

島に到着後はシジミ採り大会が開かれ、参加者はゴーグルやシュノーケルを着けて次々と水の中

嫁ヶ島まで親子300人水中散歩



宍道湖の中を歩いて嫁ヶ島から戻る参加者＝6日、松江市内

に潜り、採ったシジミの大きさを競いました。両親と参加した津田小学校5年の福田要君(11)は「水の中は気持ちよかった。魚が跳ねていた」と満足そうに話しました。

イベントは宍道湖の水環境を知ってもらおうと、市内のNPO法人水の都プロジェクト協議会が2010年から毎年開いています。



大きなニュースに

長崎県では絶滅したと思われていたスナヤツメという魚が、県内の川で見つかったよ。たいがいの魚にはある、あごがないのが特徴なんだ。

似たような例は秋田県の田沢湖に生息していたクニマスという魚でもあったよ。一時は姿が見えなくなったけれど、約70年ぶりとなる2010年に、山梨県の西湖で発見されたんだ。大きなニュースになったよ。

山陰中央新報製作センター見学施設 しんぶん学間館

山陰中央新報社の見学施設「しんぶん学間館」(出雲市斐川町上庄原)は、展示コーナーや設備の見学を通して、紙面作りや印刷の仕組みを学ぶことができます。

山陰中央新報を印刷している「山陰中央新報製作センター」に併設され、大型ディスプレイで映像を見られる視聴覚ホール、過去の大きなニュースを伝えた紙面をはじめとした各種展示コーナーなどがあります。月曜日から金曜日まで(祝日を除く)見学を受け付けています。



重要ニュース紙面展示コーナー

山陰中央新報や前身の新聞は、140年以上にわたって国内外のさまざまな出来事を報じてきました。竹下登首相の誕生、くびき国体、山陰地方を襲った災害などを伝えた紙面を展示しています。



カラー印刷の回転機模型

カラー印刷の仕組みを回転機の模型で解説します。模型は高さ1.8mで、4色を印刷するローラーが上下に並んでいます。ローラーの回転に合わせて紙が動き、4色を重ねて印刷する仕組みを理解してもらいます。

主な展示・設備

1階 ●創刊号パネル ●記念日新聞コーナー ●重要ニュース紙面 ●活字など印刷資料 ●巻き取り紙 ●多目的ホール ●活版印刷機

見学について

2階 ●さんさんホール (188号ディスプレイ設置) ●組版体験コーナー ●回転機模型 ●インキ

予約・問い合わせ先

山陰中央新報製作センター (出雲市斐川町上庄原1318) 電話 0853(73)9331